



# HAKUOH



VOL.

# 21

# NEWS

発行/白鷗大学 小山市大行寺1117 TEL: 0285-22-1111 http://hakuoh.jp

2面 ハクオウスポーツ、新任教員紹介

3面 平成26年度決算報告

4面 100周年事業、経営学部の教育研究拠点を東キャンパスへ 他

## — 次の100年は「さらに向こうへ」 —

学長 奥島孝康

### 法人創立100周年を迎えて

本学は、本年めでたく法人創立100周年を迎えました。つまり、大学として一人前になったということですね。まことにめでたいことと言わねばなりません。

歴史の長い欧米の大学では、創立5000年を迎えた時、いわゆる「5000年クラブ」に入会し、一人前の大学としての祝福を受けるといわれています。一方、明治維新から100年足らずの日本では、「100年クラブ」に入れば立派な伝統校といわれてよいでしょう。その意味で、本学は日本の大学として確固たる基盤を確立した大学となったのです。本学の創立に関わったすべての方々に心から感謝の誠を捧げねばなりません。

大正4(1915)年、上岡長四郎が本学の前身「足利裁縫女学校」を創設した足利市は、15世紀に創設された本邦最古の学校である「足利学校」生誕の地であり、その意味で本学は足利学校のDNAをどこかでいくらか受け継いでいると言ってもよいのかもしれない。

「学園の母」上岡た津は、足利裁縫女学校のモットーを、当時の時代と世相を考慮して「つよく、やさしく」と決めました。それは、女性の優美さ、優しさに加え、女性も自活力や強い自立心を持つべきだと考えたからに他なりません。その意を汲み、大学初代学長・上岡一嘉は、カモメの優美さとその飛翔する力強さをイメージして「白鷗大学」という素晴らしい校名を定めたのです。母(上岡た津)と子(一嘉)の見事な連携プレーという他ありません。かくして本学の「建学の精神」は、上岡た津の志と意図を反映し、いつの時代にも通用する普遍的表現としてラテン語の「PLUS ULTRA(さらに向こうへ)」という格調高いモットーが上岡一嘉によって定立されたのです。本学はそのモットーを実現すべく、創立100周年を機にもう一度原点に立ち戻り、英語教育をさらに強化し「大局観と行動力」を育てるリベラル・アーツ教育のさらなる推進に努めようとしております。

先頃出版された王貞治氏の自叙伝(日本経済新聞出版社)は、そのタイトルを「もっと速く」としております。まだまだやる気満々です。我々も、本学の一世紀を振り返るこの折に、「さらに向こうへ」新しい一歩を踏み出そうではありませんか。



**学位記・卒業証書1077人に授与**  
2014年度学位記・卒業証書授与式が3月14日、本キャンパス第一体育館で挙行された。奥島学長は「世渡り上手に生きようなどと安易な生き方を選ぶのではなく、信念をもって正々堂々と胸を張って生きてほしい」と激励した。1077名(学部生1068名、院生9名)が建学の精神「PLUS ULTRA—さらに向こうへ—」を胸に刻み、社会へと飛び立った。

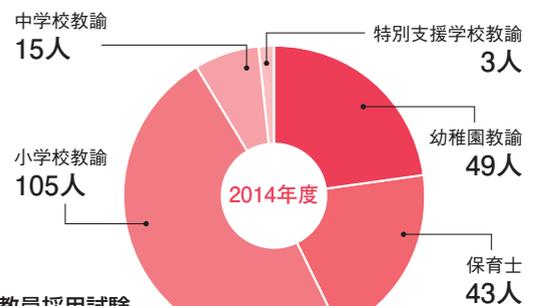


**1240人の新入生を迎え入学式(過去2番目多さ)**  
2015年度入学式が4月1日、本キャンパス第一体育館で挙行され、立ち見も出るほどの保護者が見守る中、1240人がキャンパスライフのスタートを切った。  
北山副学長は「インターネットで調べただけで『知っている』と思ってしまうのではなく、焦らずに時間をかけて『自由な実験』と『未知の冒険』を楽しんで欲しい」と新入生を激励した。学生リーダーによる校歌斉唱やハンドベル・クワイアの演奏など、在校生による歓迎も盛大に行われた。

## 過去最多の123人が合格!4年間で4倍に 国家公務員を含む89人が合格 就職率過去最高の96.2%

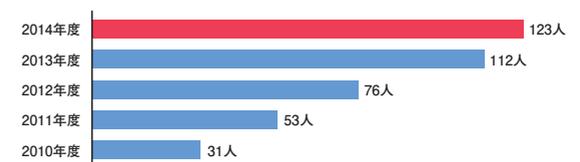
**教員採用試験** 過去最多の123人が合格!4年間で4倍に  
**公務員** 国家公務員を含む89人が合格  
**民間企業** 就職率過去最高の96.2%

### 教員・保育士の採用実績



教員採用試験合格者数 合計 123人 (現役47人)

### 教員採用試験合格者数の5年間の推移(既卒者を含む)



**公務員合格者数 89人**  
警視庁県警41人/県市町村職員21人/公立保育士14人/消防9人/国家公務員4人 (2014年度)

**2014年度就職率**  
【経営学部】94.3% (314人/333人)  
【法学部】94.2% (227人/241人)  
【教育学部】99.2% (374人/377人)  
学部合計 **96.2%**

教員採用試験合格者が4年間で4倍に増えた。2014年度の教員採用合格者(臨採除く)は123人となり、10年度の31人から4倍となった。14年度の合格者は現役47人、既卒76人。うち105人が小学校教諭、6人が中学校教諭、7人が特別支援学校教諭が3人だった。さらに幼稚園教諭は49人、保育士に43人が採用となった。仁平義明教育学部学長は「単に教員採用数を増やすだけでなく、本学が目指すグローバルな視点を持ち教養ある教員の育成も同時にしなければならぬ」としている。

また公務員試験でも国家公務員総合職を含む89人の合格者を出した。栃木県警察本部の25人をはじめ警察に41人が合格。また栃木県庁などの県市町村職員には21人、そのほかにも消防に9人、公立保育士に14人などそれぞれ合格した。栃木県内を中心に多くの合格者を出し、今後の地域を担う人材として活躍が期待される。

2014年度の卒業生全体に占める就職者の割合は83.4%と全国平均70.3%を大きく上回った。(実就職率ランキング卒業生数1000人以上で全国96位・サンデー毎日) また就職希望者に占める就職者の割合は96.2%と全国平均96.7%にはわずかながら高かったが、昨年の91.4%を大きく上回り過去最高となった。小室正男進路指導部長は「就職率については、教職員一体となって、支援した結果である。今後も9人のアドバイザーのキャリアを活かし、キメ細かな指導・フォローを徹底し、万全の体制で学生の就職活動を支援して行きたい」と話している。

HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS

# 軟式野球部が全国制覇!



念願の優勝旗を手にする選手たち

軟式野球部が初の日本の栄冠を手にした。第38回全日本大学軟式野球選手権大会決勝戦が8月20日、長野オリンピックスタジアムで行われ、白鷗大学(北関東代表)は同志社大学(関西六大学代表)と対戦した。6回表、無死2、3塁のチャンスから4番・新藤隆寛選手(教育学部3年)のライト前タイムリーヒットで先制。その後内野ゴロで1点を追加する。6回裏、これまで無安打に抑えてきた先発の篠崎蓮選手(経営学部2年)が2死から5連打を浴び3点を失う。逆転された白鷗大学は7回表



6回を除く要所を締めた篠崎選手

に主将・神田将人選手(経営学部3年)のランニングホームランで2点を返し再逆転。その後も得点を重ね、8-3で勝利し、創部以来28年間の悲願であった全国制覇を成し遂げた。所属する北関東大学軟式野球連盟としても、全日本優勝は初の快挙となった。個人賞でも、完投した篠崎選手が最優秀投手、逆転のランニングホームランを放った神田選手が最優秀選手に選出された。



ホームインする神田選手(中央)

金田健史軟式野球部監督(教育学部准教授)は「連盟やOB、練習試合に協力していただいた皆様、関わった全ての人に感謝している。今回の結果に満足することなく、2連覇を目指したい」と新たな目標を掲げた。

- ▼決勝 8-3 同志社大学
- ▼準決勝 3-1 松本大学
- ▼準々決勝 7-6 京都文教大学
- ▼2回戦 2-1 仙台大学

## 女子バスケ 林選手ユニバーシアード日本代表



林 咲希選手

存在感を世界にアピールした。

女子バスケットボール部の林咲希選手(教育学部3年)が7月4日(土)~13日(月)の期間、韓国・光州で開催された第28回ユニバーシアード競技大会の日本代表選手に今大会最年少で選出された。また同時に今年3月、本学を卒業した鶴見彩選手(現・日立ハイテククレーカーズ)も同代表に選ばれた。そのほか本学からは、佐藤智信監督が同代表の総括としてチームを牽引した。

林選手は、精華女子高(福岡県)から本学に進学。2013年の国体優勝や2014年の全日本大学選手権準優勝に貢献している。日本代表チームは世界第4位とメダルには届かなかったが、準決勝で前回優勝のアメリカを相手に前半はリードを奪い、終始互角の戦いを見せるなど存在感を世界にアピールした。

## 硬式野球部 新人戦で2年ぶりの優勝

硬式野球部は、平成27年度関甲新学生野球連盟新人戦で2013年以来2年ぶりの優勝を飾った。7月4日、上武大学野球場で行われた決勝の対戦相手は、今秋から1部リーグに昇格する新潟医療福祉大学。お互いに1点も与えない激しい投手戦が繰り広げられた。6回裏に、相手投手の変わり目を突いて先制し、そのまま守り切り1-0で勝利した。

- 公式戦試合結果**
- 女子バスケットボール部
    - 第49回関東大学女子バスケットボール選手権大会 3位
    - 第5回関東大学女子バスケットボール新人戦 2位
  - 男子バスケットボール部
    - 第64回関東大学バスケットボール選手権大会 9位
  - 硬式野球部
    - 関甲新学生野球連盟 平成27年度春季1部リーグ戦 2位
    - 関甲新学生野球連盟 平成27年度春季1部リーグ新人戦 優勝
  - サッカー部
    - 平成27年度北関東大学選手権大会(総理大臣杯) 2位
    - 栃木県大学サッカー選手権大会 優勝(2連覇)
  - 女子バレーボール部
    - 2015年度 春季関東大学女子2部バレーボールリーグ戦 6位

# 新任教員紹介

 <p><b>今井 一雄</b> 経営学部 特任教授 国際金融</p> <p>今の若者が、種々の問題にかかる国際的視野を持つきっかけ作りが出来る一助となるよう、栃木県出身者として国際金融、開発経済分野での実務経験を活かして頑張りたいと考えています。</p>	 <p><b>青崎 智行</b> 経営学部 教授 広告論</p> <p>マーケティング戦略、メディア環境の変化に伴い急速に変わりつつある広告、流通分野での講義を通して、身近な現象やテーマから社会を見る視点を伝えていきたいと思ひます。</p>	 <p><b>池村 好道</b> 法学部 教授 行政法</p> <p>新たな知の創造が社会の発展の礎として重要性を増すこれからの「知識基盤社会」においては、教養を蔑ろにせず、専門知識を習得し更に磨きをかけることに、協力して励みましょう。</p>	 <p><b>小泉 祥一</b> 教育学部 教授 教育方法学</p> <p>教育に関するさまざまな考えや現象に対して自分の目と耳と手と足と頭と心を総動員し、思い切り取り組んでみましょう。とことんのめり込み、苦しさや苦みを味わうのも若さ、青春です。</p>	 <p><b>佐藤 智信</b> 経営学部 特任講師 バスケットボール</p> <p>スポーツは人生を豊かにできるツールのひとつです。ぜひ学生諸君もひと時、授業の中で楽しくスポーツ習慣というツールを手に入れましょう。</p>
 <p><b>荒川 麻里</b> 教育学部 講師 教育制度学</p> <p>Danke, dass du da bist! ドイツ語で「あなたがいてくれて嬉しい、ありがとう」という意味の言葉です。白鷗大学との出会い、ここでの様々な出会いに感謝します。</p>	 <p><b>五十嵐 淳子</b> 教育学部 講師 保育学</p> <p>保育者の情熱や人格は子ども達を鼓舞し、活動を豊かにします。子どもの成長を育む仕事には多くの感動があります。皆さんも子ども達と一緒に感動を味わえるように、学びを深めて人間力を磨いていきましょう。</p>	 <p><b>蓮田 哲也</b> 法学部 講師 民法(財産法)</p> <p>法律は難しいと思ってしまうがちですが、日ごろの生活において知っているか否かで視野が異なります。知識は重たいものではありません。今できることは今やりましょう。</p>	 <p><b>濱崎 裕介</b> 教育学部 講師 スポーツ運動学</p> <p>新たに身につける知識や経験によって世界の見え方は変化していきます。運動学習という面から「できる」に伴う世界の広がりや学ぶ楽しさを伝えられるよう頑張ります。</p>	 <p><b>阿部 アサミ</b> 教育学部 実習講師 教育実習(幼稚園) 担当</p> <p>幼児の発想や想像力の豊かさには、いつも感嘆させられます。授業では、幼児を理解することを中心に「発達に応じた必要な経験や適切な保育環境」の在り方を一緒に考えていきましょう。</p>

# 学校法人白鷗大学 平成26年度決算報告

## 【消費収支計算書】

消費収支計算書は、経営の状況について表したものであり、企業会計における「損益計算書」に近似したものです。平成26年度の消費収支差額は4億8,057万円の支出超過となりました。資金収支計算書で説明したものは省略します。

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

### 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金	5,732,643,000	5,711,877,850	20,765,150
手数料	161,005,000	166,357,242	△ 5,352,242
寄付金	37,300,000	42,384,576	△ 5,084,576
補助金	1,054,027,000	1,113,898,339	△ 59,871,339
国庫補助金	383,000,000	447,074,600	△ 64,074,600
地方公共団体補助金	671,027,000	666,823,739	4,203,261
資産運用収入	479,103,500	527,177,799	△ 48,074,299
資産売却差額	140,000,000	133,502,195	6,497,805
事業収入	24,404,000	21,306,159	3,097,841
雑収入	183,326,000	183,326,063	△ 63
帰属収入合計	7,811,808,500	7,899,830,223	△ 88,021,723
基本金組入額	△1,002,450,000	△1,158,239,589	155,789,589
消費収入の部合計	6,809,358,500	6,741,590,634	67,767,866

一般寄付金のほか現物寄付金を含むため、資金収支計算書と異なります。

大学は経常費一般補助金3億3,833万円、特別補助金1億6,255万円でした。

大学校舎建設に対する第2号基本金組入れ8億円と固定資産の取得による第1号基本金の組入額です。

### 支出の部

科目	予算額	決算額	差異
人件費	3,842,412,739	3,798,560,341	43,852,398
教育研究経費	2,760,034,951	2,699,567,179	60,467,772
管理経費	734,559,160	686,135,437	48,423,723
借入金等利息	20,480,000	20,476,650	3,350
資産処分差額	17,363,575	17,363,575	0
徴収不能額	500,000	55,700	444,300
予備費	(61,638,425)	8,361,575	20,961,729
消費支出の部合計	7,383,712,000	7,222,158,882	161,553,118
当年度消費支出超過額	△ 574,353,500	△ 480,568,248	△ 93,785,252
前年度繰越消費支出超過額	△ 4,084,240,636	△ 4,084,240,636	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 4,658,594,136	△ 4,564,808,884	

減価償却費を含んでいるため資金収支計算書と異なります。

基本金組入前においては、消費収入超過額が6億7,767万円となります。

## 【資金収支計算書】

資金収支計算書は、一年間の収入・支出ごとの資金の流れの総額を表したものであり、企業会計における「キャッシュフロー計算書」に近似したものです。資金収支の総額は157億2,660万円であり、平成27年度への繰越支払資金は37億645万円となっております。

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

### 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	5,732,643,000	5,711,877,850	20,765,150
手数料収入	161,005,000	166,357,242	△ 5,352,242
寄付金収入	36,200,000	39,487,654	△ 3,287,654
補助金収入	1,054,027,000	1,113,898,339	△ 59,871,339
国庫補助金収入	383,000,000	447,074,600	△ 64,074,600
地方公共団体補助金収入	671,027,000	666,823,739	4,203,261
資産運用収入	476,603,500	524,730,979	△ 48,127,479
資産売却収入	1,270,000,000	1,513,952,836	△ 243,952,836
事業収入	24,404,000	21,089,910	3,314,090
雑収入	183,326,000	183,326,063	△ 63
借入金等収入	800,000,000	800,000,000	0
前受金収入	1,378,420,000	1,205,126,896	173,293,104
その他の収入	3,442,159,316	3,692,025,653	△ 249,866,337
資金収入調整勘定(注)	△ 1,417,653,347	△ 1,441,893,098	24,239,751
前年度繰越支払資金	2,196,617,202	2,196,617,202	0
収入の部合計	15,337,751,671	15,726,597,526	△ 388,845,855

受取利息配当金と施設設備利用料による収入です。

有価証券の売却・償還収入です。

特定資産の償還収入です。

### 支出の部

科目	予算額	決算額	差異
人件費支出	3,829,427,518	3,784,927,241	44,500,277
教育研究経費支出	2,071,163,112	2,018,335,845	52,827,267
管理経費支出	623,910,714	577,916,033	45,994,681
借入金等利息支出	20,480,000	20,476,650	3,350
借入金等返済支出	113,880,000	113,880,000	0
施設関係支出	2,460,000,000	2,424,127,720	35,872,280
設備関係支出	430,110,000	347,208,694	82,901,306
資産運用支出	2,674,000,000	2,507,055,064	166,944,936
その他の支出	508,880,818	543,593,643	△ 34,712,825
予備費	(61,619,344)	8,380,656	8,380,656
資金支出調整勘定(注)	△ 313,542,696	△ 317,371,794	3,829,098
次年度繰越支払資金	2,911,061,549	3,706,448,430	△ 795,386,881
支出の部合計	15,337,751,671	15,726,597,526	△ 388,845,855

高校校舎建設及び高校土地購入によるものです。

高等学校校舎新築に伴う機器購入及び大学スポーツ器具更新、図書購入によるものです。

特定資産等の有価証券償還による代替購入によるものです。

(注) 資金収入調整勘定及び資金支出調整勘定について

学校法人会計における資金収支計算の目的は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容当該会計年度における支払資金の収入及び支出とそとのん末を明らかにすることとされています。そのため収入・支出ともに調整勘定が設けられています。なお、資金収入調整勘定には期末未収入金及び前期未前受金、資金支出調整勘定には期末未払金及び前期未前払金を計上しています。

平成26年度の決算についてご報告いたします。この決算書は法人全体のものです。

## 事業の概要について

### ◆大学

平成27年に迎える学校法人白鷗大学創立100周年を節目として着手した「耐震性を備えた校舎等の建設及び既存施設等の改修整備」のため、新棟建設準備検討部会を立ち上げ、小山駅前の現東キャンパス隣接地に建てる新棟の基本計画が作成されました。平成28年からの工事着手、平成30年の完成を目指しています。

教育活動においては、経営学部ではカリキュラムの専門性(高度な会計知識の習得等)を高める見直しを行いました。法学部では平成24年度から必修クラス数を増設し、少人数教育により各学生に目が届く授業が行えるよう改善してきています。その実効的な運用のため基幹科目(民法等)の専任教員4名が新たに着任しました。

教育学部では小山市、下野市等と連携

協定を結び、小中学校において本学学生が先生が進める児童生徒の学習活動や部活動の支援を行う「スクール・サポート」事業を実施しています。平成26年度は延べ403人の学生が合計70校に派遣されました。また、学生の教職教育、教育実習、教員採用対応のための統合的な組織として「教職センター」を設置することが望ましいとして「教職センター設置準備委員会」を設けることが決定しました。

### ◆高等学校・中学校

高等学校においては、平成26年度卒業生の大学合格実績は、本校舎・富田校舎を合わせ、東北大学等国立大学に46名合格、早稲田大学、慶應義塾大学等私立大学に547名合格になりました。

施設設備面では、9階建本館(教室棟)と体育館が完成し平成27年4月より使用を開始しました。

中学校においては、有識者や大学教員

等によるシリアルセミナーを実施して情報教育にも力を入れました。

## 決算の概要について(法人全体)

平成26年度における消費収支の概況は、収入面では学生生徒納付金(80百万円減)や事業収入(3百万円減)等が前年度に比して減少しましたが、有価証券及び引当資産等の運用による受取利息、配当金等資産運用収入と資産売却差額(224百万円増)、補助金(64百万円増)の増加により、帰属収入全体としては前年比209百万円増となりました。

支出面では、人件費(81百万円増)が増加したものの、教育研究経費(97百万円減)、前期の高等学校の校舎立替に伴う資産処分差額(297百万円減)が減少するなど支出が減少し、消費支出全体としては前年比317百万円減となりました。

この結果、帰属収支差額は677百万円となり、前年比526百万円増となりました。

## 【貸借対照表】

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・消費収支差額の状況を表示して、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「正味財産」は前年度より6億7,767万円増加し、328億2,836万円となりました。

平成27年3月31日

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
固定資産	31,170,031,282	31,400,141,627	△ 230,110,345
有形固定資産	23,479,587,151	21,510,877,435	1,968,709,716
土地	5,907,814,387	5,781,144,474	126,669,913
建物	14,389,156,440	11,660,670,665	2,728,485,775
構築物	877,027,025	786,551,436	90,475,589
教育研究用機器備品	750,592,649	662,552,508	88,040,141
その他の機器備品	160,751,729	124,804,492	35,947,237
図書	1,188,283,267	1,154,817,025	33,466,242
車輜	57,782,001	66,939,655	△ 9,157,654
建設仮勘定	148,179,653	1,273,397,180	△ 1,125,217,527
その他の固定資産	7,690,444,131	9,889,264,192	△ 2,198,820,061
借地権	291,394,657	291,394,657	0
退職給与引当特定資産	660,645,603	660,645,603	0
減価償却引当特定資産	901,798,700	2,112,842,877	△ 1,211,044,177
校舎改築引当特定預金	2,400,000,000	2,300,000,000	100,000,000
有価証券	3,207,244,674	4,296,700,800	△ 1,089,456,126
その他の	229,360,497	227,680,255	1,680,242
流動資産	5,574,495,047	4,044,726,638	1,529,768,409
現金預金	3,706,448,430	2,196,617,202	1,509,831,228
有価証券	1,553,478,278	1,538,231,644	15,246,634
その他の	314,568,339	309,877,792	4,690,547
資産の部合計	36,744,526,329	35,444,868,265	1,299,658,064
<b>負債の部</b>			
固定負債	2,179,433,204	1,478,690,104	700,743,100
長期借入金	1,500,000,000	813,880,000	686,120,000
退職給与引当金	679,433,204	664,810,104	14,623,100
流動負債	1,736,735,788	1,815,492,165	△ 78,756,377
短期借入金	113,880,000	113,880,000	0
前受金	1,205,126,896	1,256,631,347	△ 51,504,451
その他の	417,728,892	444,980,818	△ 27,251,926
負債の部合計	3,916,168,992	3,294,182,269	621,986,723
<b>基本金の部</b>			
第1号基本金	34,503,166,221	33,444,926,632	1,058,239,589
第2号基本金	2,400,000,000	2,300,000,000	100,000,000
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
基本金の部合計	37,393,166,221	36,234,926,632	1,158,239,589
<b>消費収支差額の部</b>			
翌年度繰越消費支出超過額	△ 4,564,808,884	△ 4,084,240,636	△ 480,568,248
消費収支差額の部合計	△ 4,564,808,884	△ 4,084,240,636	△ 480,568,248
負債の部 基本金の部及び消費収支差額の部合計	36,744,526,329	35,444,868,265	1,299,658,064

土地と図書以外の有形固定資産については、減価償却累計額を控除して表示しています。

高校校舎・体育館新築により増加しています。

高校の校舎新築工事竣工により建物に振替えています。

将来の校舎改築等に備えるためのもので今年度高校で7億円を取崩しましたが、新たに大学にて8億円を積み立てています。

高校の校舎建設に伴い8億円の借入れを行いました。平成27年度返済予定額を短期借入金へ振替えています。

固定資産の維持取得に係わる基本金です。

将来取得する固定資産の取得に充てる金銭の額で今年度7億円を第1号基本金へ振替え、新たに大学にて8億円を組入れています。

必要な運転資金維持に係わる基本金です。



# 学校法人 白鷗大学 法人創立100周年・大学設立30周年記念式典



白鷗ホールで行われた記念式典

学校法人白鷗大学法人創立100周年・大学設立30周年記念式典が7月11日、東キャンパスの白鷗ホールで行われた。式典には地元関係者を中心に約280人が出席し、1世紀という大きな節目を祝った。

学校法人白鷗大学の起源は1915年、栃木県足利市から始まった。創立者である上岡長四郎は、教育がまだ男性だけのものだった時代、女子教育の必要性を説き、前身の足利裁縫女学校を創設。一期生17人でスタートした。白鷗大学は、1986年に経営学部を擁し開学。その後、法学部と教育学部も加わり来年度で設立30年を迎える。



11階会議室で行われた祝賀会

式典で上岡條二理事長は「3万を超える大学の卒業生、高校の卒業生が7万人。合わせて10万人の卒業生がそれぞれの分野で頑張っています。卒業生こそが、白鷗が残せる本当の文化遺産だと思います」と述べ、さらに今後の展望については、「白鷗は最大を目指

「引き続き高い見識と粘り強い気力を持った学生を育成すると共に、学問の発展と国際社会の発展に寄与することを大学の使命と考え、次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出して参りたいと思います」とあいさつした。

そのほか、式典前には祝典演奏が行われ、ハンドベルクワイアが昨年大ヒットした映画「アナと雪の女王」の「Let it go」など計3曲を披露した。また白鷗大学足利高等学校の卒業生である浅沼杏花さんと佐藤万衣子さんが、所属している弦楽四重奏グループ「玻璃音モード」で演奏し、会場に花を添えた。式典中



ハンドベルクワイアによる祝典演奏



本キャンパスに設置されたフラッグ



特別仕様になったスクールバス

100周年の取り組みとしてロゴマーク(左上)が制定された。建学の理念「PLUS ULTRA(さらに向こうへ)」を羽ばたくカモメのイメージに重ね、翼をモチーフに表現。5本の羽は五大陸を、三本の羽は三大洋を表している。

キャンパス内にはロゴマークのフラッグが設置され、スクールバスも特別仕様になった。小山駅

には北山修副学長が「日本の母子像」をテーマに講演。「浮世絵の美人画には無数の母子像が描かれており、多くが同じものを眺めている姿である。母子のつながりを通して文化や言語が子に受け継がれている様子こそ教育の原点ではないか」と説いた。歴史を振り返る記念映像も上映。11階会議室では祝賀会が行われた。

本キャンパス総合グラウンドを改修し、人工芝化する。敷設するのはフィールドターフ社のロングパイル人工芝。天然芝に匹敵する性能と美しさは東京ドームをはじめ世界10,000以上のフィールドで認められている。フルピッチのサッカー・アメフトのコートや陸上競技用助走路が設置され、実技授業のほか部活動でも活用される。

11月にはアメフトの大学リーグ公式戦が行われるほか、大学サッカーの公式戦も計画されている。人工芝化により、安全にスポーツを楽しめることに加えて、高い排水性により雨天でもグラウンドを使用できるなど、多くのメリットがある。

夏季休暇中に工事を行い、9月末から後期授業に合わせて使用開始予定。

## 総合グラウンド人工芝化へ



改修後の完成イメージ



2018年東キャンパスの隣接地に新校舎を建設し、経営学部(藤井健学部長)の教育研究拠点を移転する計画だ。新校舎は、東キャンパスに隣接する大学所有の駐車場に建設する。地上7階建てで、教室のほか職員会事務局やメディアスタジオ、運動ができるアクティブスペースも設置する予定。東キャンパスにある既存の図書館も新校舎に移し、機能強化を図る。ICT環境整備に加え、アクティブラーニングに対応したグループ学習室などを充実する。そのほか、低層階には、学食など学生が集う環境も整える。

新校舎の完成図



東口前の東キャンパス二階ガラス面に「2018年、白鷗大学は生まれ変わります」というメッセージを掲出。東キャンパスの隣接地に新校舎を設け、大学の本部機能と経営学部を移転することと共に小山市が進める東口の再開発に協力することを表している。今後地域に寄り添った大学として、白鷗大学は歩み続ける。

## 経営学部の教育研究拠点を東キャンパスへ

建設計画は、今年度までに計画をまとめ、来春着工。2018年春の完成を目指す。また本キャンパスも、耐震工事が必要な施設を取り壊し、施設を再整備する方向だ。

現在東キャンパスは、法学部の二年生から四年生、大学院生が1000人程度学んでいる。移転後は、全学生数の6割にあたる約2800人に増える見通しだ。